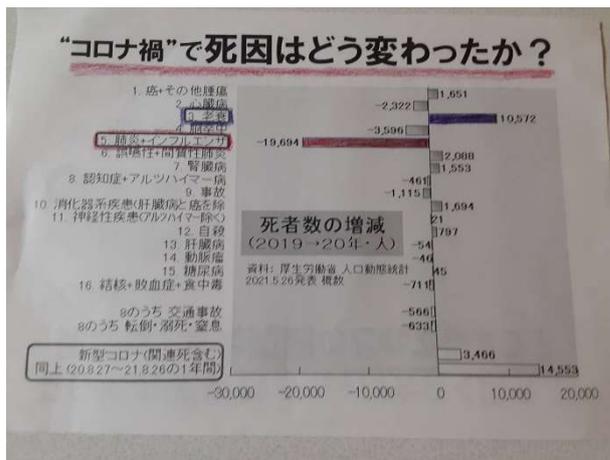


データの大切さを知る

8月30日 zoom で藻谷浩介氏の講演「オリンピックと第5波の決算～データから見た第5波の真実～」を視聴して、データを見ながら説明を受けたので、納得感が得られました。

講演で私の疑問を納得させてくれた内容をまとめました。



① 新型コロナウイルスを含むウイルス性肺炎での死者数は、2020年に前年と比べ2割減少。一人ひとりのコロナ対策が肺炎・インフルエンザの罹患者・死者数を激減させ、増えた死者は「老衰」だということが驚きです。てっきりコロナ関係が増加したと思っていました。

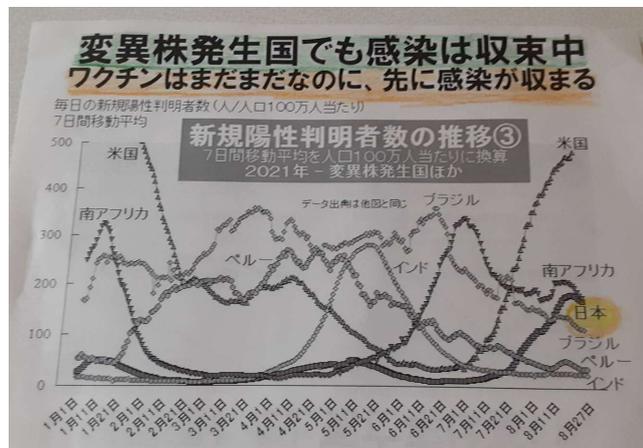
問題なのは死者が減ったのに「医療崩壊」したのは、感染症対応病床数

を、1年経っても有効に増やせなかった医療行政と国会の失敗であり、問題は病床増加戦略欠如にあることがわかりました。

② 新型コロナウイルス第5波はオリンピック開催と関係なく起きて進んだ。

現在流行中のデルタ株は、5/18に陽性判明した1名の首都圏在住者から広まったもの（国立感染研究所ゲノム解析による）で、第5波開始は6月中旬東京から始まった。オリンピックを開催することで国民の危機意識がワクチン接種を促進し感染を抑制したようです。

第5波の死者数はまだ増加中ですが、8月末の毎日の死者数（7日間移動平均）は第4波のピークに比べて半分以下。毎日の新規陽性判明者数のピークを比べると、第5波は第4波の3.5倍もありました。日本での新型コロナウイルスの感染拡大は感染者激増の割に、重症者増加のペースは遅い。ワクチンの効果で死者数は大幅に



抑えられている。高齢者への接種先行で日本は死者数が少ないまま、ワクチンで死亡率は劇的に低下している。

変異株発生国でも感染は収束中。ワクチンはまだまだなのに、先に感染が収まりつつあるのはどういうことなのか、学者が様々な情報を出しているがわからない。死者は減少中。

日本は感染者数、死者数ともに減少で欧米よりうまく行き、開放型戦略を遂行可能といえるそうです。

【感想】

私は[2020 オリパラ]を開催するのを反対していました。第5波はオリンピック開催と関係なく起きて進みました。幸いにもワクチン接種を促進し感染を抑制した形になり、誰も想像がつかないことが起こりました。この秋以降はどうなるのでしょうか？日本は戦略を絞れず、病床数も不備のままワクチンも足らず、右往左往を続けているように見えます。日本製のワクチン、飲み薬が早くできるよう、行政と国会は後手後手ではなく先手先手で行って欲しいと思います。

実業家で立命館アジア太平洋大学学長の出口治明氏の名言

「私は、事を起こそうとする時に、タテ・ヨコ・算数を基に考えます。タテは歴史・ヨコは世界・算数はデータです。」を思い出しました。

藻谷浩介氏はデータに基づいて意見を述べられます。だから納得がいくのですね。私たちはマスコミの言うことを鵜呑みにする事が多いように思いますが、100%信じるのではなく、疑うことも大切だと思いました。データという裏付けが大事ですね。

◆データ(data)とは…物事の推論の基礎になる事実。また、参考となる資料・情報(大辞泉)